
一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

平成26年度 社員総会 議案書

日時：2014年6月28日(土) 12:30～13:45

会場：日本大学理工学部駿河台校舎 5号館2階524会議室

議事次第：

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長団等選出（議長団2名、議事録署名人2名、記録者1名）
4. 議 事
 - 議案 - 1 平成25年度 事業報告
 - 議案 - 2 平成25年度 決算報告
 - 議案 - 3 監査報告
 - 議案 - 4 平成26年度 事業計画案
 - 議案 - 5 平成26年度 予算案
 - 議案 - 6 定款改正
5. 報告
 - 1) 第17回（平成26年）全国大会（広島）開催案内
 - 2) 第18回（平成27年）全国大会開催地
6. その他
7. 閉会

4. 議 事

議案-1 平成 25 年度 事業報告

1-1 : 常設委員会

1-1-1 総務委員会 委員長 池田 典弘

- (1) 定款・内規等の規定について、全面的な見直しを実施
- ・規定類の不備等を明確にし、規定類の体系の見直し
 - ・各規定案について、新規制定及び追加修正改定
 - ・各規定案については、理事監事の皆様の意見取りまとめ

[規定類] 5 規約 7 規則 策定案

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会規定類			
[定款]		[規約:5規約]	[規則:7規則]
		代議員選挙規約	代議員選挙運営規則
		会員規約	理事会・代議員会運営規則
定款		委員会規約	支部・委員会会計規則
		支部運営規約	事務局運営規則
		倫理規約	論文応募規則
			全国大会運営規則
			学会賞運営規則

- (2) 総務委員会の役割について、会長副会長事務局と意見交換を実施
- ・事務局長を含め事務局の負担について、役割分担も含め調整
 - ・委託事務局の国際文献社についても、今後の方向性等の議論
- (3) 学会としての後援、メーリングリストでの会員への告知申請に対する判断基準も会長承認頂くものと、事務局サイドで承認かつ会長報告で済ませるものなど意見交換
- (4) 学会HPからのマイページ運用に関する公開非公開についての確認をし、暫定運用をスタート
- (5) 全国大会のマニュアル化に関し、意見交換

1-1-2 会誌委員会 委員長 菱輪 裕子

(1) 学会誌発行

- Vol. 15 No. 2 (2013 年 7 月 15 日発行)
 - 特集 1 : 日本福祉のまちづくり学会 15 周年記念シンポジウム
 - 特集 2 : 障害者権利条約と差別禁止法
- Vol. 15 No. 3 (2013 年 11 月 15 日発行)
 - 特集 1 : 第 16 回日本福祉のまちづくり学会全国大会 (仙台) 報告
 - 特集 2 : 音案内の JIS 制定について
- Vol. 16 No. 1 (2014 年 3 月 15 日発行)
 - 特集 1 : 東日本大震災復興調査報告 その 4
 - 特集 2 : 日本福祉のまちづくり学会全国大会 (仙台) 報告
 - 特集 3 : 日本福祉のまちづくり学会創立 15 周年記念出版「福祉のまちづくりの検証」シンポジウム報告

(2) 会誌委員会の開催

- 2013 年 8 月 26 日 (東北福祉大学)

1-1-3 論文委員会 委員長 岡田 明

(1) 学会誌への論文掲載

- Vol. 15, No. 1 (2013 年 3 月 15 日発行) : 原著論文 3 件
- Vol. 15, No. 3 (2013 年 11 月 15 日発行) : 原著論文 3 件
- Vol. 16, No. 1 (2014 年 3 月 15 日発行) : 原著論文 2 件

(2) 2013 年度 査読結果 (2014 年 3 月 10 日現在)

- 2013 年度投稿数 : 13 件 2012 年度からの査読結果および掲載持越し : 1 件
- 学会誌 Vol. 15-No. 2 掲載 : 0 件
- 学会誌 Vol. 15-No. 3 掲載 : 3 件
- 学会誌 Vol. 16-No. 1 掲載 : 2 件
- 不採用 : 1 件 • 次号掲載決定 : 2 件 (Vol. 16, No. 1) • 査読中 : 7 件

(3) 2014 年度第 1 回論文委員会 (5 月 12 日) 会議報告 (主な審議内容)

- 論文応募規定の改訂について
 - ― 査読付き投稿論文の種類として原著の他に総説と報告も加えることに伴い, 第 4 条を中心に文言の一部修正を行うこととなった.
 - ― 投稿を受け付ける論文として, 未発表論文とみなす範囲を再確認し, 二重投稿等の疑念が生じないよう応募規定にそれに関する文言を追記することとなった.
 - ― 以上の改訂内容について論文委員会で近日中に結論を出し, 総会に提案することとなった.
- 各種論文の査読方法について
 - ― 論文査読は従来の 2 名 (+第 3 査読者) 体制から, 主査 1 名 (論文委員が担当) と副査 2 名による 3 名体制で行うこととなった.

1－2： 学術研究委員会

1-2-1 学術研究委員会 委員長 八藤後 猛

(1) 2013 年度 第1回 学術研究委員会の開催

日時 2013 年 8 月 26 日 12:25～12:45

場所 東北福祉大駅前キャンパス s400 室

<報告事項>

1. 8 月 26 日理事会において、9 の特別研究委員会の他、各委員が決定

(追記：この時点で、委員長推薦委員と公募委員の区別はなくなり、一律「委員」となる)

・特別研究委員会委員長は、学術研究委員となる。ただし、委員会によっては、委員長以外の者を指名し、これに当たらせることができる。

2. 半年ごとに、公募委員を追加できることにする。

次回は平成 26 年 1 月募集の予定（その後、平成 26 年 1 月にはなし、平成 26 年 6 月に 1 件）

なお、委員は、学会員であることが望ましい（入会してもらう）が、特別研究委員会として、当該研究分野に関して、とくにその方に入っていた必要がある場合は、このかぎりではない。

3. 入退会の管理

学術研究委員長と特別研究委員会委員長は、委員の入退について管理をする。

- ・特別研究委員会の入退については、特別研究委員会委員長から学術研究委員長を通して事務局報告とする
- ・学術研究委員会の入退については、学術研究委員会委員長から事務局報告

4. 委嘱状

特別研究委員会委員委嘱状については、会長ならびに学術研究委員長名でこれを発行する。

5. 学術研究委員会幹事の選出

委員長を補佐し、委員会活動の基本的な立案について協力する幹事を 2～3 名ほど置く。

(現在幹事はいない)

<その他、意見、要望>

- ・学術研究委員会と特別研究委員会等が主体となって討論会を企画する
- ・特別研究委員会ホームページを、学会ホームページからリンクすること

(2) コメンテーター（付き）論文の実施

今年度大会から、論文発表においてコメンテーター論文の募集開始

審査（平成 26 年 4 月 22 日～4 月 28 日）

福祉のまちづくり学会大会時における「コメンテーター論文」に関する提言、ならびに「コメンテーター論文」に関する実施要項（理事会承認）（平成 26 年 3 月 28 日付）により、学術研究委員（特別研究委員会委員）ならびに学術研究委員長の計 10 名が審査員となり、審査が行われた

- ・審査参加者 9 名、審査不参加 1 名
- ・審査結果の審査員への公表 平成 26 年 4 月 28 日
- ・応募題数 25 題
- ・採用 24 題（過半の審査員が採用の判定）・不採用 1 題（過半の審査員が不採用の判定）

審査結果について審査員からの異議申立期間 平成 26 年 4 月 28 日～4 月 29 日

審査員からの申し立てなしのため確定（4 月 29 日）

結果について、審査員会から学術研究委員会を経て、学会へ報告

- ・審査結果に関する異議申し立て 1 件 平成 26 年 4 月 30 日

異議申し立てに関する規定がないため、学術研究委員会でこれを審議

審議期間（平成 26 年 4 月 30 日～5 月 7 日） 審議結果と回答

実施要項に則った審査方法によるものであることを理由として、審査結果の正当性を回答（平成 26 年 5 月 8 日）

コメンテーターの選出開始（平成 26 年 5 月 12 日）

コメンテーターの決定（平成 26 年 5 月 22 日）

コメンテーターの依頼（平成 26 年 5 月 22 日）

1-2-1 (1) 震災復興支援・交通特別研究委員会 委員長 岡 正彦

- (1) 2013 年 9 月 27 日(金)障害児童支援施設周辺の避難経路等予備調査
- (2) 2014 年 1 月 7 日(火)石巻市社会福祉協議会及び災害ボランティア NPO ヒアリング
- (3) 2014 年 1 月 31 日(金)塩竈市社会福祉協議会へのヒアリング
- (4) 2014 年 2 月下旬～ 宮城県内の社会福祉協議会へのアンケート
(対象：発災時に災害ボランティアセンターを開設 14 箇所)
- (5) 2014 年 3 月 11 日(火)体規模災害発生時の広域連携訓練〈福祉避難所開設訓練〉参加
(山形県村山地区特別養護老人ホーム災害時施設相互応援協定にもとづく)

【ヒアリング内容】

- ・災害ボランティアの受入状況、活動の課題(震災直後・1 ヶ月後・3 ヶ月後・1 年後)
- ・災害ボランティア活動の構造(窓口、情報の集約、指示系統、役割分担等)
- ・災害ボランティアを積極的に受け入れることが出来た要因
- ・災害絵の備え、計画のあり方、(防災拠点、災害ボランティアセンターの設置 等)
- ・災害ボランティアによる高齢者、障害者等—のサポート体制(福祉サービス・支援)

1-2-1 (2) 震災復興支援・住宅特別研究委員会 委員長 狩野徹

仮設住宅を主な対象として、3 つの班に分けて取り組んでいる。各班の活動は以下の通り。全体会は 2013 年 12 月 4 日に行った。

(1) 仮設住宅標準化班

静岡県庁にヒアリング調査を実施した内容などをまとめた。

(2) バリアフリー班

9 月に福島、11 月に岩手（大船渡・陸前高田）で調査を実施した。

(3) コミュニティ班

11 月に大船渡市泊里・西館集落で調査を実施。

(4) 全体会

日時：2013 年 12 月 4 日（水）午後 7 時～8 時 40 分

場所：東洋大学朝霞キャンパス研究棟 2 階 参加者：委員 9 名

報告内容：3 つの班（仮設住宅標準化班、バリアフリー班、コミュニティ班）の報告

1-2-1 (3) 法制度特別研究委員会 委員長 男鹿芳則

- (1) 2013 年 8 月 7 日（水）：第一回委員会（会場：TOTO テクニカルセンター）
- (2) 2013 年 8 月 27 日（水）：南三陸町復興の現場視察（南三陸町）
- (3) 2013 年 9 月 18 日（水）：公開研究会（会場：TOTO テクニカルセンター）
 - ・「障害者権利条約と ADA」 講師：長瀬 修 氏（立命館大学客員教授）
- (4) 2013 年 10 月 28 日（月）：第二回委員会（会場：TOTO テクニカルセンター）
- (5) 2014 年 2 月 3 日（月）：千葉県ヒアリング調査（千葉県庁）
 - ・「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の実施体制について

1-2-1 (4) 子育て子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 長谷川 万由美

(1) 委員会

- ・2013年9月26日(木)：第一回委員会(東京大学)参加8人
- ・2013年12月11日(水)：第二回委員会(日本大学駿河台校舎)参加 2013年度事業の進め方について
- ・2014年1月14日(月)：第三回委員会(日本大学駿河台校舎)3人
らくもびとの意見交換、セミナー実施に向けての打ち合わせ
- ・2014年1月20日(水)：第三回委員会(日本大学駿河台校舎)6人 2013年度事業の進め方について
- ・2014年3月27日(木曜日)：第四回委員会(日本大学駿河台校舎) 4人
2014年度事業の進め方について

(2) 研究会

- ・2013年12月11日(水)：2013年度第一回研究会「地域からみた障害児福祉～区議の経験から」講師・海津敦子文京区議(日本大学駿河台校舎5号館2階 524会議室)

(3) セミナー

- ・2014年3月27日：「第5回子育て・子育てまちづくりセミナー～障害児おでかけ最前線～ 障害をもつ子の外出・移動を考える」

会 場：日本大学理工学部駿河台校舎 1号館4階141教室

☆講演1『移動用具を必要とする障害児への工学的アプローチ ―重度障害児に必要なもの―』

沖川悦三さん(神奈川県総合リハビリテーションセンターリハ工学研究室主任研究員)

☆講演2『子どもの車いす、補助具～子ども固有のニーズに着目して』

杉本昌子さん(パシフィックサプライ(株) 事業開発本部テクニカルエイド事業部成長支援事業グループ課長)

☆子ども用の車いす、補装具・移動補助具等の展示と解説

☆全体でのディスカッション

(4) 他団体事業参加・協力

- ・2013年10月23日(水)：荒川区・国土交通省主催「まちのバリアフリーと心のバリアフリーを考えるシンポジウム」バリアフリー教室の実施
- ・2013年10月29日(水)：ねりまユニバーサルデザイン研究会主催「子育て・子育てバリアフリー教室」の実施
- ・2014年2月11日(火)：子育て応援とうきょう会議事務局主催子供未来とうきょうメッセ2014 ブース出店(東京国際フォーラム)〈2013年 開催打ち合わせに長谷川、植田が参加〉
- ・2014年3月16日(日)：東京大学工学部におけるシンポジウム「子ども連れ外出教室を通して子育てしやすいまちづくりについて考える」の共催 (主催日本交通政策研究会 子育て研究プロジェクト)
- ・2014年3月19日(水)：「笑顔で働きたいママのフェスタ2014in 埼玉」らおけるソーシャルベンチャーAttraおよび企画集団らくもびブースへの情報提供 (主催PowerWoman)

1-2-1 (6) 身体と空間特別研究委員会 委員長 原 利明

(1) 2013年6月6日(木)：第1回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)

(2) 2013年7月25日(水)：第2回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)

(3) 委員公募

(4) 委員会MLの立ち上げ

(5) 2013年9月2日(月)：第3回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)

(6) 2013年10月25日(金)：第1回委員会(国土技術研究センター会議室)

- ・自己紹介と2013年度活動計画について

(7) 2013年11月13日(水)：第4回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)

(8) 2013年12月17日(火)：第5回幹事会(鹿島建設KIビル会議室)・葭原氏へのヒアリング

(9) 2014年1月25日(金)：第2回委員会(国土技術研究センター会議室)

- ・話題提供1：小林吉之委員 「視覚障害者のためではない誘導ブロックに関する研究の紹介及び産総研 DHRC で取り組んでいる動作の評価技術研究の紹介」
- ・話題提供2：武者 圭委員 「空間設計におけるサウンドスケープデザインのチェックリスト開発」
- ・第1回公開研究会について
- (10) 2014年3月10日(月)：第6回幹事会(鹿島KIビル会議室)
- (11) 2014年3月20日(木)：第3回委員会(国土技術研究センター会議室)
 - ・話題提供1：船場ひさお委員 「音のデザインについて」
 - ・第1回公開研究会について
 - ・2014年度全国大会研究討論会について
 - ・2014年度活動計画について

1-2-1 (6) 情報・コミュニケーション特別研究委員会 委員長 中野 泰志

- (1) 2013年5月15日(水)：情報・コミュニケーション特別研究委員会の準備会を開催。地方の委員や情報障害のある委員が議論に参加しやすくするために、メーリングリストで議論が行えるシステムを構築。
- (2) 2013年6月20日(木)：総会資料のアクセシブル化作業を担当。
- (3) 2013年6月30日(日)：神奈川県視覚障害者福祉協会の福祉大会にて情報・コミュニケーション特別研究委員会の紹介と今後の連携について相談を実施。
- (4) 2013年8月3日(土)：学会から発信する情報のアクセシビリティ確保に関する調査・提言ワーキンググループを結成。
- (5) 2013年8月6日(火)：シンポジウム準備のためのワーキンググループ(WG)を結成。日本盲人会連合、全日本ろうあ連盟、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会、全国盲ろう者協会との協力体制を構築。
- (6) 2013年8月21日(水)：情報・コミュニケーション特別研究委員会の活動報告用ホームページを開設(<http://web.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/academy/jais/jcom.html>)。
- (7) 2013年9月24日(火)：シンポジウム準備のための第1回WG会議を開催。
- (8) 2013年9月27日(金)：第1回公開シンポジウム「視覚障害当事者が望む災害時に必要な支援に関するシンポジウム」を開催。(会場：慶應義塾大学)
- (9) 2013年11月1日(金)：シンポジウム準備のための第2回WG会議を開催。
- (10) 2013年11月9日(土)：第2回公開シンポジウム「まちづくりにおける情報・コミュニケーションシンポジウム」を開催。(会場：慶應義塾大学)
- (11) 2014年1月22日(水)～3月20日(木)：日本福祉のまちづくり学会ホームページのアクセシビリティチェック

1-2-1 (7) 地域福祉交通特別研究委員会 委員長 吉田 樹

本委員会では、2013年度中に全員が一同に集った研究会を開催することができなかったが(2014年6月～7月にかけて実施すべく調整中)、2014年3月10日に、本委員会メンバーを講師とする「地域交通まちづくり塾(第1回セミナー)」を福島市内(ふくしま中町会館(福島市))で開催しました。

このほか、メンバーが下記のパフォーラム・セミナー等に参加し、議論を交わしました。

【メンバーが参加したセミナー等(メンバーが開催支援を行ったイベント)】

- ・2013年11月24日「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム」への参加・開催支援(東京大学)
- ・2014年2月16日「2014 移動送迎支援活動2月セミナー」“交通政策基本法／有償運送登録権限移譲”と地域の福祉有償運送」への参加・開催支援 エル・おおさか(大阪市中央区)

1-2-1 (8) 国際特別研究委員会 委員長 北川 博巳

- (1) Ageing & Mobility に関する日英ワークショップのアレンジ(10/31、11/1)
- (2) ヨルダンバリアフリー研修コーディネート(10月)

- (3) オリンピック・パラリンピック情報交換会(1/29)
- (4) Magazine of Accessible Cities and Transport あるいは
Magazine of Inclusive Society 刊行に向けての準備

1-2-1 (9) サイン環境特別研究委員会 委員長 田中 直人

- (1) 2013 年 7 月 20 日 (土) 幹事会
- (2) 2013 年 7 月 31 日 (水) 幹事会
- (3) 2013 年 8 月 28 日 (水) 第一回 委員会開催 (大阪市立大学文化交流センター)
- (4) 2013 年 9 月 17 日 (火) 幹事会
- (5) 2013 年 11 月 8 日 (金) 第二回 委員会開催 (大阪市立大学文化交流センター)
- (6) 2013 年 11 月 22 日 (金) 幹事会
- (7) 2014 年 1 月 10 日 (金) 第三回 委員会開催 (大阪市立大学文化交流センター)
研究集会企画「大阪キタとミナミのサイン環境を見る」
大阪駅前地区サイン環境調査実施 (学会雑誌 2014 年 3 月号 pp25-26 に概要掲載)
- (8) 2014 年 2 月 22 日 (土) 第四回 委員会開催 (大阪市立大学文化交流センター)
大阪市中央区谷町 4 丁目地区サイン環境調査実施

1-2-2 学会賞選考委員会 委員長 小山 聡子

学術賞：該当者なし

市民活動賞：応募団体なし

1-3： 支部

1-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

- (1) 2013 年 5 月 25 日 (土)：北海道支部総会 (一般社団法人北海道開発技術センター)
- (2) 2013 年 6 月 15 日 (土)～16 日 (日)：共催／第 8 回北海道ユニバーサル上映映画祭七飯上映会 (七飯町文化センター)
- (3) 2013 年 9 月 22 日 (日)～23 日 (月・祝)：共催／第 8 回北海道ユニバーサル上映映画祭 in hokuto (北斗市総合文化センター「かなで〜る」)
- (4) 2013 年 11 月 30 日 (日)：共催／第 8 回北海道ユニバーサル上映映画祭函館上映会 (函館市総合福祉センターあいよる 21)
- (5) 2014 年 1 月 17 日 (金)：共催／広域的除雪ボランティア活動に関する研究発表会 (一般社団法人北海道開発技術センター)
- (6) 2014 年 1 月 25 日 (土)・26 日 (日)、2 月 1 日 (土)・8 日 (土)・9 日 (日)・15 日 (土)・22 日 (土)・23 日 (日)、3 月 2 日 (日)：協力／雪はねボランティア大集合！ (当別町、岩見沢市、上富良野町、三笠市、倶知安町)
- (7) 2014 年 2 月 21 日 (金)：後援／第 13 回「野生生物と交通」研究発表会 (札幌コンベンションセンター)

1-3-2 東北支部 支部長 狩野 徹

- (1) 2013 年 4 月 18 日 (木)：大会準備委員会 (仙台市シルバーセンター)
- (2) 2013 年 5 月 30 日 (木)：大会準備委員会 (仙台市シルバーセンター)
- (3) 2013 年 6 月 14 日 (金)：支部総会 (仙台市中央市民センター)

- (4) 2013 年 6 月 14 日(金) : 大会準備委員会 (仙台市中央市民センター)
- (5) 2013 年 7 月 18 日 (木) : 大会準備委員会 (仙台市中央市民センター)
- (6) 2013 年 8 月 7 日 (水) : 大会準備委員会 (仙台市シルバーセンター)
- (7) 2013 年 8 月 24 日 (土) : 被災地福島見学会実施
- (8) 2013 年 8 月 25 日 (日) ~27 日 (火) : 全国大会実施 (25 日、26 日)、見学会実施 (27 日)
- (9) 2013 年 9 月 30 日 (月) : 大会準備委員会 (仙台市中央市民センター)
- (10) 2013 年 12 月 14 日 (土) : 支部事例検討会 (山形市)

1-3-3 関東甲信越支部 支部長 佐藤 克志

- (1) 総会 平成 25 年 6 月 15 日(土)13:00~13:30 : 2013 年度関東甲信越支部総会
会場 : 首都大学東京荒川キャンパス出席者 : 20 名
議事内容等 : 支部長及び監事の選出、平成 25-26 年度支部役員 (副支部長、事務局長、幹事) の任命、平成 24 年度事業・決算報告、平成 25 年度事業計画案・予算案の承認など
- (2) 研究会・見学会
 - 1) 平成 25 年 5 月 30 日 18:00~19:00
ヨルダン・障害者のアクセシビリティ改善のためのアドバイザー活動報告会
主催 : (独) 国際協力機構 (JICA) 共催 : 日本福祉のまちづくり学会関東甲信越支部
会場 : JICA 本部 +TV 会議参加 (JICA 関西、沖縄、ヨルダン、ウズベキスタン、南アフリカ、ルワンダ)
 - 2) 平成 25 年 6 月 15 日(土)14:00~16:30
関東甲信越支部第 7 回研究会「皆で協力して実現する福祉のまちづくりー合意形成を再考する」
会場 : 首都大学東京 荒川キャンパス 参加者 : 40 名
 - 3) 平成 25 年 7 月 2 日(火)14:00~16:00 東急渋谷駅のユニバーサルデザイン見学・研究会
場所 : 東急東横線渋谷駅 参加者数 : 23 名
 - 4) 平成 25 年 2013 年 9 月 3 日(火) 10:30~15:00 茨城県日立市 BRT (バス高速交通) 見学会
場所 : 茨城県日立市 参加者 : 約 35 名
 - 5) 平成 26 年 2014 年 1 月 15 日(水) 14:00~16:30 帰真園(世田谷区立二子玉川公園内) 見学会
協力 : 世田谷区、世田谷福祉のまちづくり研究会
場所 : 二子玉川公園内帰真園 参加者 : 14 名
 - 6) 平成 26 年 2014 年 3 月 12 日(水) 14:00~16:30 こころみ学園、ココ・ファーム 見学会
場所 : こころみ学園、ココ・ファーム (栃木県足利市) 参加者 : 8 名
- (3) 支部役員会
 - 第 10 回役員会 2013 年 5 月 22 日 (水) 18:30~ 日本女子大学
 - 第 11 回役員会 2013 年 10 月 2 日 (水) 18:30~ 日本女子大学
 - 第 12 回役員会 2013 年 12 月 4 日 (水) 18:30~ 日本女子大学
 - 第 13 回役員会 2014 年 3 月 5 日 (木) 18:30~ 日本女子大学

1-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- (1) 2013 年 5 月 12 日 (日) : 東海北陸支部総会
総会 : 支部長方針、2012 年度活動報告・会計報告案並びに 2013 年度活動計画・予算案
会場 : 名古屋都市センター 11 階会議室にて
- (2) 2013 年 7 月 20 日 (土) 13:30~16:30 : 東海北陸支部 第 1 回セミナー
テーマ : バス停環境のあり方について
会場 : 名古屋都市センター 11 階会議室にて 参加者 : 42 名
- (3) 2013 年 7 月 31 日 (水) : 東海北陸支部後援 セミナー

テーマ：第15回災害時要援護者避難支援セミナー「映画と地域防災のつどい」

会場：昭和区役所講堂 参加者：257名

- (4) 2013年9月28, 29日(土, 日)：東海北陸支部 交流見学会

会場：北陸地区のバリアフリー施設の見学と、東海地方と北陸地方の会員相互交流を目的に、富山市、金沢市を見学 参加者：10名

- (5) 2013年12月14日(土) 13:30～16:50：東海北陸支部 12月勉強会

テーマ：バス車両内の車いす固定の問題について

会場：つながれっと NAGOYA 会議室にて 参加者：49名

- (6) 2014年3月21日(金・祝)：東海北陸支部 第1回研究・活動発表会

テーマ：東海北陸支部会員が行っている福祉のまちづくりに関する研究、活動等について

会場：名古屋都市センター 14階 第3・4会議室にて 参加者：18名

1-3-5 関西支部 支部長 相良 二郎

- (1) 2013年5月21日(火)：支部役員幹事会の開催(キャンパスポート大阪 ルームG)

- (2) 2013年6月18日(火)：支部総会(キャンパスポート大阪ルームA)

- (3) 2013年6月18日(火)：第39回日本福祉のまちづくり関西セミナー(テーマ：弱者のQOL向上を通して学ぶこと、講師：久保雅義(京都工芸繊維大学))(キャンパスポート大阪ルームA)

- (4) 2013年7月31日(水)：ひょうごユニバーサル社会づくり推進大会・第21回福祉のまちづくりセミナー
主催：ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議、兵庫県、兵庫県立福祉のまちづくり研究所、後援：日本福祉のまちづく学会関西支部

- (5) 2013年9月12日(木)：第1回勉強会(テーマ：English Heritageに学ぶ歴史的建造物のユニバーサルデザイン、講師：大塚毅彦(国立明石工業高等専門学校)(神戸勤労会館403会議室)

- (6) 2014年3月18日(火)：勉強会「健康福祉におけるみどり空間の活用」(兵庫県立明石公園 サービスセンター西館 会議室2)主催：兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科、兵庫県立淡路景観園芸学校、共催：日本福祉のまちづくり学会関西支部、余暇活動のユニバーサルデザイン研究会、後援：土木学会「移動権の考え方に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会」

- (7) 2014年3月20日(木)：関西支部コアメンバー事前打ち合わせ(大阪市)

- (8) 2014年3月24日(月)：ビックアイ国際セミナー「ハンディキャップのある人のためのコミュニティビジネス起業講座」(国際障害者交流センター)、主催：国際障害者交流センター、後援・協力：日本福祉のまちづく学会関西支部

- (9) こうべUD都市づくりの取り組み団体への参加、主催：神戸市都市計画総局まちのデザイン室ユニバーサルデザイン都市推進係

1-3-6 中国四国支部 支部長 今田 寛典

- (1) 2013年6月3日(月)：第1回支部幹事会(広島文化学園大学社会情報学部)

- (2) 2013年7月24日(水)：第1回実行委員会(近畿大学工学部)

- (3) 2013年8月4日(土)：第2回幹事会・支部総会・25年度第1回公開講演会
(サテライトキャンパス広島 広島県民文化センター6階中講義室)

- (4) 2013年10月4日(金)：第2回実行委員会
(サテライトキャンパス広島 広島県民文化センター6階中講義室)

- (5) 2013年11月15日(金)：第2回実行委員会
(サテライトキャンパス広島 広島県民文化センター6階中講義室)

- (6) 2013年12月14日(土)：平成25年度第2回公開講演会・第4回実行委員会
(広島市まちづくり市民交流プラザ 北棟 5F 研修室C)

- (7) 2014年1月20日(月)：第5回実行委員会

(サテライトキャンパス広島 広島県民文化センター5小講義室)

(8) 2014年2月20日(木):第6回実行委員会

(サテライトキャンパス広島 広島県民文化センター6中講義室)

1-3-7 九州沖縄支部 支部長 竜口 隆三

(1) 2013年11月30日(土):第13回日本福祉のまちづくり学会九州沖縄支部佐賀大会(神崎市・西九州大学)

- ・支部総会及び研究発表会開催(参加者10名)
- ・「第23回西九州大学社会福祉研究会」開催協力

(2) 2014年3月22日(土):九州沖縄支部セミナー(玉名市・九州看護福祉大学)

- ・シンポジウム「発達障がい当事者からみた福祉のまちづくり」(参加者約20名)

1-4: 全国大会(仙台)

■開催概要

- 名 称 一般社団法人日本福祉のまちづくり学会 第16回全国大会(仙台)
大会長:萩野 浩基(梅檀学園 東北福祉大学 学長)
実行委員長:狩野 徹(岩手県立大学 教授)
- 大会テーマ 「復興(幸)とユニバーサルデザイン」サブタイトルとして～東北から福祉のまちづくりの原点を考える～
- 開催日時 2013年8月25日(日)～27日(火)
- 開催場所 梅檀学園 東北福祉大学 ステーションキャンパス

●主要企画

内 容	日 付	8月25日 (日)	8月26日 (月)	8月27日 (火)
①研究発表会		○	○	
②研究討論会			○	
③ポスターセッション		○		
④交流会		○		
⑤市民公開シンポジウム		○		
⑥見学会			○	○

●全体プログラム

	日時	プログラム
25日	9:00～	受付開始
	9:45～12:15	研究発表(口頭)
	12:15～13:15	休憩
	13:15～16:00	市民公開シンポジウム
	16:00～16:50	ポスターセッション
	17:00～19:30	交流会
26日	9:30～12:15	研究発表(口頭)
	12:15～12:45	休憩
	12:45～13:30	報告:日本福祉のまちづくり学会の緩やかな改革
	13:30～13:45	休憩
	13:45～15:30	研究討論会①②
27日	15:40～17:00	見学会: 東北福祉大学エネルギーセンター 認知症介護研究・研修センター ※東北福祉大学国見ヶ丘キャンパス内
	10:00～12:00	見学会:クリネックススタジアム宮城(楽天) 第3回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣 表彰施設

- セッション数 24セッション及びポスターセッション
研究発表数:口頭105編
ポスター10編

●参加者数

大会参加 240名(一般、学生会員、非会員)

交流会 89名

公開シンポジウム 260名(市民参加者含む)

見学会 42名(2日間)

●収支報告

収入 3,078,267 (参加費、交流会費、協賛等、本部支援費、大会用銀行口座利息など)

支出 3,078,267 (会場借上げ、大会運営、印刷代、謝金、大会参加取消し返納など)

議案-2 平成25年度 決算報告

収 支 計 算 書				
平成 25年 4月 1日 から 平成 26年 3月 31日まで				
		(単位:円)		
科 目	予 算 額	実 績	差 異	執行状況
I 収入の部				
1. 会費収入	6,800,000	6,998,000	198,000	102.9%
正会員	6,500,000	6,730,000	230,000	103.5%
学生会員	150,000	168,000	18,000	112.0%
入会金	150,000	100,000	-50,000	66.7%
2. 法人会費	810,000	740,000	-70,000	91.4%
法人会員	740,000	700,000	-40,000	94.6%
賛助会員	60,000	40,000	-20,000	66.7%
入会金	10,000	0	-10,000	0.0%
3. 事業収入	1,268,921	1,691,030	422,109	133.3%
講演会・講習会等参加費(懇親会費含む)	80,000	125,750	45,750	157.2%
刊行物販売等(15周年/33.65・CiNii/12.47 その他/5.32)	60,000	514,359	454,359	857.3%
広告収入	20,000	0	-20,000	0.0%
論文掲載料・査読料	150,000	92,000	-58,000	61.3%
研究委託費	958,921	958,921	0	100.0%
4. 寄付金収入	0	459,484	459,484	-
5. 前年度繰越金	4,357,366	4,357,366	0	
6. 雑収入(利息等)	8,000	49,079	41,079	613.5%
収入合計	13,244,287	14,294,959	591,188	107.9%
II 支出の部				
1. 事業費	6,780,500	3,426,282	-3,354,218	50.5%
全国大会支援費(東北25、中国四国25)	500,000	500,000	0	100.0%
講習会等(懇親会費含む)	50,000	75,735	25,735	151.5%
学術研究委員会(10+印刷10+9委員会*12:情報補償4含め)	1,280,000	421,375	-858,625	32.9%
学会15周年記念出版事業(編集費・買取)	800,000	582,620	-217,380	72.8%
震災復興活動支援費	600,000	0	-600,000	0.0%
学会賞事業費	200,000	0	-200,000	0.0%
会誌(論文含む、印刷、企画・450,000×3回+Vol.15-No.1未払分)	1,750,500	1,261,250	-489,250	72.1%
査読者謝金(5,000×30)	150,000	65,000	-85,000	43.3%
ホームページ維持管理(予備費)	200,000	12,125	-187,875	6.1%
選挙関連費用	0	0	0	-
学会変更登記手数料	100,000	143,000	43,000	143.0%
支部支援費(北海道、東北、関東、東海、関西、中四国、九州)	1,050,000	351,090	-698,910	33.4%
総会運営費(資料印刷代、会場費、情報保障費)	100,000	14,087	-85,913	14.1%
研究委託事業費	0	0	0	-
2. 管理費	5,080,000	3,829,695	-1,250,305	75.4%
事務局本部人件費	1,200,000	996,498	-203,502	83.0%
事務委託費	1,910,000	1,943,591	33,591	101.8%
備品・消耗品費	100,000	30,193	-69,807	30.2%
印刷費(封筒、会議資料等)	100,000	51,975	-48,025	52.0%
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	100,000	78,927	-21,073	78.9%
交通費(2回分)	1,450,000	639,676	-810,324	44.1%
税務処理費	100,000	70,000	-30,000	70.0%
事務諸経費(会議費、雑費)	120,000	18,835	-101,165	15.7%
3. 積立金および積み立て繰入支出	200,000	200,000	0	100.0%
4. 予備費	1,183,787	0	-1,183,787	0.0%
当年度支出合計	13,244,287	7,455,977	-5,788,310	56.3%
当年度収支差額	0	6,838,982		
次年度繰越金	0	6,838,982		

財 産 目 録

平成 26年 3月 31日 現在

(単位:円)

科 目	細 目	金 額	
		一般勘定	合 計
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
	(1) 普通預金		
	三菱東京UFJ銀行青葉台支店	299,302	
	北海道支部	57,773	
	東北支部	3,746	
	関東支部	42,479	
	東海北陸支部	16,502	
	関西支部	72,381	
	中国四国支部	12,370	
	九州支部	254,233	
	(2) 郵便口座		
	(会費口)	6,296,753	
	(3) 事務局預かり金	27,553	
	流動資産合計		7,083,092
2. 固定資産			
(1) 積立金			
	(1) 普通預金		
	三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店	2,700,000	
	固定資産合計		2,700,000
資 産 合 計			9,783,092
II 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 会費前受金		172,000	
(2) 未払金		72,110	
	流動負債合計		244,110
2. 固定負債			
	固定負債合計	0	
負 債 合 計			244,110
正 味 財 産			9,538,982

議案-3 監査報告

※総会の配布資料には押印入り

監 査 報 告 書

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会

会長 秋山 哲男 殿

作成日 平成 年 月 日

監事

⑩

監査事項

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会の監事として一般社団法人及び一般財団法人に関する法律にもとづく、会計監査及び業務監査を実施した。

会計監査の結果

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの事業年度の会計帳簿および財務諸表等につき一般に認められた会計監査の基準にしたがって照合実査、その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。

- ① 正味財産増減計算書は、会計基準のフォーマットに合わせて作成されている。
- ② 財産目録および貸借対照表に記載の諸資産が正しく保全され正確な会計処理がなされている。
- ③ 会計帳簿・伝票等・会計関係書類一式が、適正に保管され正確な会計処理がなされている。

業務監査報告

理事の業務執行状況を監査するため、理事会に出席するとともに、理事から業務執行の状況を聞き、重要な決済書類を閲覧し、その他必要な監査手続きを実施した結果、次の事を確認した。

理事の業務執行は合法適正に行われ、不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はない。

監事の意見

上記監査結果にもとづき監事は財務諸表等及び財産目録が当学会の財産及び正味財産増減の状況を適正に表示しており、且つ理事の業務執行は適正に行われているものと認める。

今後の学会運営の検討～緩やかな改革～

1. 全国大会：近畿大学 2014 年度
 - ① コメンテーター制度
 - ② 論文賞
 - ③ 特別研究委員会の意見交換会
2. 総務委員会
 - ① 一連の様々な手続きの見直し
 - ② 会長・副会長経験者を名誉会員
 - ③ 名誉会長との懇親会
3. 学会賞
 - ① 市民活動賞
 - ② 学術賞
 - ③ 大会時の「優秀プレゼンテーション賞（仮称）」をスタート
 - ④ デザインアワード(検討中)
4. 国際委員会
 - ① ジャーナルの出版
 - ② その他
5. 学術委員会
 - ① 委員会申請方式の実施
 - ② コメンテーター制度の実施
 - ③ 特別研究委員会の意見交換会（全国大会中）
6. 学会誌
 - ① 各特別研究委員会に順番に特集記事を依頼
 - ② 「福祉のまちづくりとは」をわかりやすく紹介する連載コーナーの創設
 - ③ 大学研究室等、関連機関・組織の紹介コーナーの創設
7. 論文委員会
 - ① 査読の3人体制
8. 障害者団体
 - ① DPI
 - ② JD
9. 学会誌の拡大
 - ① 大学生の購読会員
 - ② 企業の購読会員
 - ③ 行政の購読会員
10. オリンピック・パラリンピック委員会発足
 - ① 建築家協会と桝添さん、森さんに協力要請
 - ② 海外調査：ソチ・リオ・ロンドン
11. 事務局長＋総務委員会
 - ① 学会の理事会メンバーの数を少なくする
 - ② 事務の効率化

12. 全国大会 2015 年度 東京大学 柏キャンパス

① 日程：2015 年 8 月 7 日（金）、8 日（土）、9 日（日）

・TRANSED リスボン（ポルトガル）

7 月 28 日（火）～7 月 31 日（金）

4-1： 常設委員会

4-1-1 総務委員会 委員長 池田 典弘

(1) 定期的な委員会の開催

- ・会長、事務局長等との意見交換及び調整について
- ・全国大会のマニュアル化

(2) 社員総会に向け、規定類の策定承認化へ進める。

(3) 委託事務局の国際文献社との調整

4-1-2 会誌委員会 委員長 養輪 裕子

(1) 学会誌発行

- ・Vol. 16 No. 2（2014 年 7 月 15 日発行） 特集：差別解消法の動向
- ・Vol. 16 No. 3（2014 年 11 月 15 日発行） 特集：広島大会報告、研究委員会の取組から
- ・Vol. 17 No. 1（2015 年 3 月 15 日発行） 特集：未定、研究委員会の取組から

(2) 会誌委員会の開催 ①魅力ある会誌づくりに向けた検討 ②確実で効率的な作業手順の確立

4-1-3 論文委員会 委員長 岡田 明

(1) 「論文応募規定」「報告等応募規定」の一元化と査読付論文のジャンル拡大

(2) (1) に基づく投稿規定、査読規定等の改訂

4-2： 学術研究委員会

4-2-1 学術研究委員会 委員長 八藤後 猛

全国大会口頭発表・コメンテーター方式の導入、実施。連携イベント開催のための検討作業

4-2-1 (1) 震災復興支援・交通特別研究委員会 委員長 岡 正彦

- (1) 障害児童支援施設の避難(訓練)計画の策定支援
- (2) 災害ボランティアに関するアンケートの継続
- (3) セミナーの開催
- (4) 東北福祉大学感性福祉研究所(私立大学戦略的基盤形成支援事業)との連携

4-2-1 (2) 震災復興支援・住宅特別研究委員会 委員長 狩野 徹

3 つの班での活動と、まとめの公開の報告会を実施する

4-2-1 (3) 法制度特別研究委員会 委員長 男鹿 芳則

障害者差別解消法やバリアフリー法、関連する自治体の条例を中心とした法制度等の、調査、研究会、シンポジウムなどを実施し、実効性のある制度について研究を進める。

(1) 法制度等の調査の実施

- (2) 公開研究会、シンポジウム等を開催
- (3) 全国大会で研究討論会を開催

4-2-1 (4) 子育て子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 長谷川 万由美

「子育てバリアフリーの推進」「障害児とまちづくり」の大きな二つのテーマのもと、以下のような活動を行う。
また来年度は積極的に行政やNPO等の他団体との協働を深めたい。

○研究会の開催

障害を持つ子どもとその保護者に焦点をあてて年数回、講師をお呼びして研究会を開催する。

○見学会の実施

7月 パシフィックサプライ(株) 東京本社

9月 イクメンフェス(幕張)

○子育てバリアフリー教室の実施

行政やNPO等と協働して子育てバリアフリー教室を開催する

○第六回子育て・子育てまちづくりセミナーを開催する(2014年12月予定)

4-2-1 (5) 身体と空間特別研究委員会 委員長 原 利明

(1) 視覚障害者の空間移動時における情報利用の実態に関する調査研究

(2) 上記調査研究に基づいた視環境・音環境の課題の抽出

※上記2つの調査を行うために研究助成金の申請を目指す。

(3) 上記の調査・研究の成果を広く会員に広め、また意見をいただくための公開研究会の開催

(4) 委員会は、毎回委員より2台程度の話提供をいただく(4回/年)

4-2-1 (6) 情報・コミュニケーション特別研究委員会 委員長 中野 泰志

<活動計画>

以下の2つの公開シンポジウム・勉強会を開催する。また、視覚障害者、聴覚障害者、盲ろう者、発達障害者等の当事者のニーズを把握するための研究を実施する。

(1) 移動を支援する福祉制度に関する公開シンポジウム:福祉のまちづくりのためには、ハードだけでなくソフトを組み合わせることで、解決方法を提案していくことが重要である。障害のある方々にとって、自由な「移動」を確保することは暮らしやすさと密接に関連するが、ハードのみの整備では解決できない問題でもあることから、ソフト面に着目し、その概要を学ぶとともに、現行の問題点とその解決策について考察する。まずは、①移動を支援する現行の制度について、車いすの場合や知的障害の場合等で、どのような制度があるのか概観する。また、②福祉移動サービス(福祉有償運送、福祉限定タクシー等)についても現在運営している法人や団体から、制度の概要やメリット・デメリット等を整理していただく。その上で、③制度の利用者や事業者等から問題点を挙げていただき、その解決策について、フロアも交えて福祉のまちづくりの観点から討議する。

(2) 聴覚障害者が逃げ遅れないまちづくりのための公開勉強会:聴覚障害者が災害などの緊急時に情報を適切に入手し身を守れるようにするためにはどのようなまちづくりをすればよいのか、聴覚障害当事者や専門家などを招き、報告・議論する勉強会を開催する。

4-2-1 (7) 地域福祉交通特別研究委員会 委員長 吉田 樹

(1) 研究ミーティングの開催(6月~7月にかけて日程調整中)

研究委員会メンバー相互の研究や実践を共有する機会を設定する(会場は東京を想定)

(2) 公開研究会の開催(年度内に1回)

おでかけ機会を支えるしくみ)をテーマにした研究・事例発表とワークショップを開催する。

参加対象者は、行政の交通・福祉担当者、交通事業者、NPO、研究者、コンサルタント、移動に関心

のある市民 など（会場は、東北地方を想定）

4-2-1 (8) 国際特別研究委員会 委員長 北川 博巳

- (1) 2013 年度活動の学会誌への提供あるいは全国大会での報告
- (2) Magazine 刊行に向けての準備
- (3) 組織化が課題なのでミーティング実施
- (4) 台湾高雄市ユニバーサルデザイン連盟との学術協定

4-2-1 (9) サイン環境特別研究委員会 委員長 田中 直人

- (1) 委員会を年 4 回、関西にて開催 4/28 幹事会開催、5/10 委員会開催
- (2) 委員の既往研究についての勉強会（委員会と兼ねる）
- (3) 大阪キタ・ミナミ地区のサイン環境の現状調査
- (4) サイン環境に関する海外調査（8～9 月計画中）
- (5) 大会におけるシンポジウムの企画
- (6) 基礎研究成果についての研究会の開催

4-2-2 学会賞選考委員会 委員長 小山 聡子

- (1) 今後の学会賞（学術賞、市民活動賞）の公募、選考方法の検討

4 - 3 : 支部

4-3-1 北海道支部 支部長 鈴木 克典

- (1) 2014 年 5 月：北海道支部総会
- (2) 2014 年 6 月：第 9 回北海道ユニバーサル上映映画祭七飯上映会＜共催＞
- (3) 2014 年 9 月：第 9 回北海道ユニバーサル上映映画祭＜共催＞
- (4) 2014 年 9 月：北海道支部セミナー（研究会）：未定
- (5) 2014 年 11 月：第 9 回北海道ユニバーサル上映映画祭函館上映会＜共催＞
- (6) 2015 年 1 月：北海道支部セミナー（研究会）：未定
- (7) 2015 年 1 月～3 月：雪はねボランティア＜後援＞
- (8) 2015 年 2 月：第 14 回「野生生物と交通」研究発表会＜後援＞

4-3-2 東北支部 支部長 狩野 徹

- (1) 2014 年 6 月 14 日（土曜日）：支部総会（仙台市）
- (2) 2013 年 11 月上旬（土曜日）：支部事例報告会（場所未定）

4-3-4 関東甲信越支部 支部長 佐藤 克志

- (1) 支部総会 2014 年 6 月 21 日（土） 2014 年度関東甲信越支部総会 場所：日本女子大学
- (2) 2014 年度 関東甲信越支部 見学／研究会
・ 6 月 21 日（土） 14:00-16:00 「東京オリンピック・パラリンピックにむけて」
場所：日本女子大学
上記研究会を含め、計 4～5 回の見学／研究会の開催
検討中のテーマ： 福祉のまちづくりにおける合意形成（その 2）

福祉のまちづくりをテーマとする学生研究者交流会
国際協力に関する調査研究 他

(3) 2015 年度全国大会 (関東) 実行委員会活動支援

4-3-4 東海北陸支部 支部長 磯部 友彦

- (1) 2014 年 5 月：東海北陸支部総会 (AJU 自立の家わだちコンピュータハウス)
- (2) 2014 年 7 月：東海北陸支部 研究交流会の開催 (予定)
- (3) 2014 年 9 月：東海北陸支部 第 1 回セミナーの開催 (予定)
- (4) 2014 年 11 月：東海北陸支部 見学会勉強会の開催 (伊勢神宮予定)
- (5) 2015 年 2 月：東海北陸支部 第 2 回セミナーの開催 (予定)

4-3-5 関西支部 支部長 相良 二郎

- (1) 2014 年 4 月 20 日：合同セミナーの開催
共催：一社日本リハビリテーション工学協会・関西支部、「車椅子の昨日・今日・明日～パーソナルモビリティの進化と暮らしの変化～」@一社) 日本福祉用具評価センター (神戸市中央区)
- (2) 2014 年 5 月頃：支部役員会の開催
- (3) 2014 年 6 月頃：第 40 回日本福祉のまちづくり関西セミナー予定
- (4) 2014 年 6 月頃：総会の開催
- (5) 2014 年度：関西支部勉強会 2～3 回開催予定
- (6) こうべUD都市づくりの取り組み団体への参加、主催：神戸市都市計画局まちのデザイン室ユニバーサルデザイン都市推進係

4-3-6 中国四国支部 支部長 今田 寛典

- (1) 2014 年 5 月 16 日：第 1 回幹事会・学会大会実行委員会 (近畿大学工学部)
- (2) 2014 年 6 月：26 年度支部総会・セミナー・学会大会実行委員会 (近畿大学工学部)
- (3) 2014 年 7 月：学会大会実行委員会 (近畿大学工学部)
- (4) 2014 年 8 月：学会大会実行委員会・学会大会 (近畿大学工学部)
- (5) 2014 年 10 月：セミナー・幹事会・学会大会報告会 (サテライトキャンパス広島)
- (6) 2015 年 2 月：幹事会 (未定)

4-3-7 九州沖縄支部 支部長 竜口 隆三

- (1) 2014 年度(未定)：第 14 回九州沖縄支部福岡大会 (北九州市・西日本工業大学)
- (2) 2014 年度(未定)：支部主催セミナー開催(都城市・南九州大学)

2014年度予算案

2014年度予算案				
科 目	予算額	予算差異	予 算 額	実 績
	2014年度	2014-2013	2013年度	2013年度
I 収入の部				
1. 会費収入	9,080,000	2,280,000	6,800,000	6,998,000
正会員+200人	8,800,000	2,300,000	6,500,000	6,730,000
学生会員	170,000	20,000	150,000	168,000
入会金	110,000	-40,000	150,000	100,000
2. 法人会費	1,040,000	230,000	810,000	740,000
法人会員+6社	1,000,000	260,000	740,000	700,000
賛助会員	40,000	-20,000	60,000	40,000
入会金	0	-10,000	10,000	0
3. 事業収入	280,000	-988,921	1,268,921	1,691,030
講演会・講習会等参加費(懇親会費含)	50,000	-30,000	80,000	125,750
刊行物販売等	100,000	40,000	60,000	514,359
広告収入	50,000	30,000	20,000	0
論文掲載料・査読料	80,000	-70,000	150,000	92,000
研究委託費なし	0	-958,921	958,921	958,921
4. 寄付金収入	600,000	600,000	0	459,484
5. 前年度繰越金	6,838,982	2,481,616	4,357,366	4,357,366
6. 雑収入(利息等)	50,000	42,000	8,000	49,079
収入合計	17,888,982	4,644,695	13,244,287	14,294,959
II 支出の部 (下記の個別数字:単位は万)				
1. 事業費	7,211,000	430,500	6,780,500	3,426,282
全国大会支援費中国四国25、関東25)	500,000	0	500,000	500,000
講習会等(懇親会費含)	50,000	0	50,000	75,735
学術研究委員会支援費 (学術全体10+11委員会*8+情報補償等11*4)	1,420,000	140,000	1,280,000	421,375
国際ジャーナル	500,000	500,000	0	0
JD入会金	100,000	100,000	0	0
学会15周年記念出版事業(編集費・買取)なし	0	-800,000	800,000	582,620
震災復興活動支援費(旧年度分29.6+新規60)	896,000	296,000	600,000	0
学会賞事業費	50,000	-150,000	200,000	0
会誌(論文含:45×4回+4月郵送8.5)	1,885,000	134,500	1,750,500	1,261,250
査読者謝金(0.5×30)+10	250,000	100,000	150,000	65,000
ホームページ維持管理(情報保障含めた改良)	200,000	0	200,000	12,125
選挙関連費用	220,000	220,000	0	0
学会変更登記手数料	30,000	-70,000	100,000	143,000
支部支援費 (関西21関東16他12*5支部+情報保障等4*7支部)	1,050,000	0	1,050,000	351,090
総会運営費(資料印刷代、会場費、情報保障費)	60,000	-40,000	100,000	14,087
研究委託事業費	0	0	0	0
2. 管理費	5,490,000	410,000	5,080,000	3,829,695
事務局本部人件費	1,200,000	0	1,200,000	996,498
事務委託費 (基本152+大会関連申込・CDROM作成45+10)	2,070,000	160,000	1,910,000	1,943,591
備品・消耗品費	30,000	-70,000	100,000	30,193
印刷費(封筒、会議資料等)	60,000	-40,000	100,000	51,975
通信運搬費 (8:切手代、宅配便、送金手数料)+事務局移転10	180,000	80,000	100,000	78,927
交通費(2回分145+選挙関連35)	1,800,000	350,000	1,450,000	639,676
税務処理費	100,000	0	100,000	70,000
事務諸経費(会議費、雑費)	50,000	-70,000	120,000	18,835
3. 積立金および積み立て繰入支出	200,000	0	200,000	200,000
4. 予備費	1,200,000	16,213	1,183,787	0
当年度支出合計	14,101,000	856,713	13,244,287	7,455,977
当年度収支差額	3,787,982	3,787,982	0	6,838,982
次年度繰越金	3,787,982	3,787,982	0	6,838,982

議案 - 6 : 定款、規約、規則改正

<定款を含めた規定類の新規制定ならびに改正の骨子について>

[定款] : 改正

- 第5条の「法人の構成員」において、法人会員ならびに賛助会員との違いがあまりなく、わかりにくい表現になっていた。
- ⇒法人会員と賛助会員を統合し、「賛助会員」に一本化した。
- ⇒第9条の5項の「法人会員並びに」を削除した。
- ⇒2項の「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律」箇所の誤記を「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に訂正した。
- 第14条の「代議員」において、5項「代議員選挙規約は社員総会の承認を受けなければならない」を削除した。
- ⇒他の規約などとの整合性を図った。
- 第22条の「決議」において、2項の文言中の「各候補者ごと」の箇所を訂正した。
- ⇒「各」を削除し、「候補者ごと」とした。
- 第32条の「権限」の3項において、文言の統一をした。
- ⇒「規則」を「規定」に変更した。
- 第34条の「決議」において、3項の文言の言い回しで助詞の変更を行った。
- ⇒1か所「の」を「を」に変更し、()書きの位置をずらした。
- 第38条の「支部規則、支部長」において、文言の統一をした。
- ⇒「支部規則」を「支部規定」に、「細則」を「規約」に、「運営規定」を「運営規則」に変更した。
- 最後に改定歴を記載するようにした。

<5 規約について>

[代議員選挙規約] : 改正

- 第6条の「推薦代議員の選出方法」において、「推薦すべき代議員候補数を3名以内」を明記した。2項においても「被推薦者数10名以内」を明記した。
- 第6条の「推薦代議員推薦用紙」を別紙として、本規約に添付した。
- 第7条に「規約の変更」として、「この規約の変更は理事会において行う。」を追加明記した。

[会員規約] : 改正

- 規約名を「会費規約」から「会員規約」に変更した。
- 第2条の「入会」について規定した。
- ⇒入会承認は理事会での承認であるが、開催時期がずれる場合は今回承認予定の理事会・代議員会運営規則第3条記載の「メール理事会」においても承認できる旨を追加した。
- 第3条の「入会金」において、定款の「法人の構成員」の変更に伴い、法人会員を削除し、一本化した賛助会員については、入会金を免除とした。
- 第5条の「会費」についても、法人会員を削除した。
- 第6条に「賛助会員の特典」として、9項目の特典を追加明記した。
- ⇒入会金の免除、会員向けのメール情報の配信、学会誌の配布、全国大会参加の際会員価格が適用される、全国大会での連名者に、法人・団体に所属されている方はなることができる、全国大会以外の講習会や研究会などに法人団体に所属されている方は何人でも参加できる、学会誌の賛助会員名簿欄に掲載される、学会HPの賛助会員名簿欄に掲載される、学会HPに法人団体へのリンクも可能、学会誌広告への掲載料が割引価格が適用されるなど、10項目の特典を明記した。

○第8条に「学会誌購読会員について」を追加した。

⇒学会員にならずとも学会誌の購読できる仕組みを規定化し、特に学生に対する優遇処置を明記した。

○第10条に「規約の変更」として、「この規約の変更は理事会において行う。」を追加明記した。

[委員会規約]：改正

○第2条の「任務」において、4項の最後に「等」を追加明記した。

○第6条に「規約の変更」として、「この規約の変更は理事会において行う。」を追加明記した。

[支部運営規約]：改正

○第3条の「支部の名称及び支部の地域」において、「本会」の表現を「学会本部の下に理事会の議決を経た」に変更した。

○第9条に「規約の変更」として、「この規約の変更は理事会において行う。」を追加明記した。

[倫理規約]：新規制定

○倫理規範に関し、規約として定めた。

⇒学会としての目的について、社会的責任について、公正な活動について、法令の遵守について、契約の遵守について、情報の公開について、利益相反の回避について、公平性の確保について、研究対象研究協力者などの保護について、職務環境の整備について、教育と啓発について、規約の変更についての12条で構成されている。

<7 規則について>

[代議員選挙運営規則]：新規制定（内規程度にルール化されていた。）

○過去の内規資料をベースに、代議員選挙規約に基づく代議員選挙の運営方法についての事項を定めた。

⇒目的、代議員選挙日程について、代議員選挙立候補資格について、代議員選挙投票について、規則の変更についての5条で構成されている。

[理事会・代議員会運営規則]：改正（ただし、内規）

○過去の内規資料をベースに、理事会および代議員会における開催時期、内容および代議員選挙規約に基づく代議員選挙の運営方法についての事項を定めた。

⇒目的、理事会および代議員会の開催について、メール理事会について、出席時の交通費について、交通費の宿泊請求について、その他について、規則の変更についての7条で構成されている。

⇒第2条の「理事会および代議員会の開催」において、定期の開催回数とおおむねの時期について明記した。

⇒第3条の「メール理事会」において、メールによる理事会を「会長による宣言等」、条文に通りに行うことで、正式な理事会として扱うことのできる条文として、追加明記した。

⇒第6条の「その他」において、特別な事由がある場合には会長副会長の協議により、本規則の基準外の支出を認める条文を追加明記した。

⇒第7条に「規則の変更」として、「この規則の変更は理事会において行う。」を追加明記した。

[支部・委員会会計規則]：改正（ただし、内規）

○過去の内規資料をベースに、学会の各委員会・各支部における運営に関して、必要な経費（支部支援費、講師謝金、交通費）についての事項を定めた。

⇒目的、支部支援費の支払いについて、講師が非会員である場合の交通費と謝金について、会員への交通費と謝金について、学会誌への原稿依頼に対する執筆者が非会員である場合の謝金について、その他について、規則の変更についての7条で構成されている。

⇒第2条の「支部支援費」において、3項の理事会は理事会・代議員会運営規則第3条記載のメール理事会

を含む旨の文言を追加明記した。

⇒第3条の「講師が非会員である場合の交通費と謝金について」において、2項の「源泉徴収税額は所得税法に定められた額とする。」を修正明記した。また、非会員講師への基本謝金額を期間、時間に関わらず10,000円とする旨の文言を修正明記した。

⇒第4条の「会員への交通費と謝金について」において、1項の会員への交通費は、100kmを超える場合のみ支払うことを原則にした条文を追加明記した。また、2項のアルバイトを雇う場合に参加者の参加費をもって、アルバイト代と交通費を支払う旨の条文を追加明記した。

⇒第5条の「学会誌への原稿依頼に対する執筆者が非会員である場合の謝金について」において、執筆者が会員の場合は謝金不要とし、非会員の場合は1頁4,000円とし上限額を20,000円とした旨の条文を追加明記した。

⇒第6条の「その他」において、特別な事由がある場合には会長副会長の協議により、本規則の基準外の支出を認める条文を追加明記した。

⇒第7条に「規則の変更」として、「この規則の変更は理事会において行う。」を追加明記した。

[事務局運営規則]：改正（ただし、事務に関する諸経費支払に関する内規）

○過去の内規資料をベースに、本法人の定款第37条に基づく学会事務局の事務、職務ならびに事務局員の事務所経緯費の支給または支払いについての事項を定めた。

⇒目的、事務局職務について、学会後援およびメールマガジン配信の扱いについて、臨時職員等の任用および給与・手当等の支払いについて、業務出張旅費について、講演料等諸謝金について、諸経費について、職員給与と特別手当について、その他について、規則の変更についての10条で構成されている。

⇒第2条の「事務局職務」において、1項の事務処理の一部外部委託についての条文と、2項の職務及び役割を9項目の文言を追加明記した。

⇒第3条の「学会後援およびメールマガジン配信の扱い」において、1項で講演依頼を受けた際の判断処置について追加明記した。また、2項で他の団体よりメールマガジン配信依頼を受けた際の判断処置についても追加明記した。

⇒第4条の「臨時職員等の任用および給与・手当等の支払い」において、別紙「事務局臨時職員時間単価表」の単価の見直しを行った。

⇒第6条の「講演料等諸謝金」において、支部・委員会会計規則の第3条「講師が非会員である場合の交通費と謝金について」と、同一内容の条文を修正明記した。

⇒第8条の「職員給与と特別手当」において、「事務局員において12か月以上の継続勤務がある場合、この間の平均給与の1か月分の特別手当を支給する」旨の条文を追加明記した。

⇒第9条の「その他」において、特別な事由がある場合には会長副会長の協議により、本規則の基準外の支出を認める条文を追加明記した。

⇒第10条に「規則の変更」として、「この規則の変更は理事会において行う。」を追加明記した。

[論文応募規則]：改正

○論文応募規定、論文執筆要領、報告等応募規定をまとめ見直し、論文応募規則に集約した。

○この論文応募規則は、論文応募に関して応募資格や応募方法、査読の判断方法等についての事項を定めた。

⇒従来の論文応募規定、論文執筆要領、報告等応募規定の条文文言を、目的、応募資格について、論文内容について、論文の種類および連続する応募の取扱いについて、原稿の体裁について、投稿論文の提出について、論文の採否について、討論の採否について、著作権について、電子図書館への掲載について、論文の体裁について、査読料について、別刷について、論文の送付先・問合せ先について、規則の変更についての15条に構成し直した。

⇒第12条の「査読料」において、「応募者からは査読料としては徴収しない。査読完了後採用された論文は論文掲載料として20,000円、刷上り頁数が基準頁数の8頁を超過した場合は超過頁料として1頁につき

3,000 円を加算する。」に修正明記した。

⇒第 14 条の「論文の送付先・問合せ先について」において、東洋大学から(株)国際文献社内に変更した。

[全国大会運営規則]：新規制定

○この運営規則は、全国大会の開催場所、開催時期、運営方法についての事項を定めた。

⇒目的、開催場所について、開催時期について、大会実行委員会組織の発足について、運営方法について、大会支援費の支払いについて、予算および会計について、シンポジウムや討論会の講演者への交通費と謝金について、アクセスビリティについて、その他について、規則の変更についての 11 条で構成されている。

⇒第 5 条の「運営方法について」において、詳細な大会運営方法は別添「全国大会関係様式集」「運営マニュアル」に基づいて進めることを明記した。

⇒第 9 条の「アクセスビリティ」において、「大会運営者は情報保障や保育の準備があることを示し、大会参加者にどんな情報がどこまで必要か、保育の有無などについて、確認を行い必要に応じ適切に対応することとする。」という条文を追加明記した。

[学会賞運営規則]：改正継続検討中

5. 報告

1) 第 17 回 (平成 26 年) 全国大会 (広島) 開催案内

1. 大会テーマ

「超高齢社会のまちづくり ～我々を取り巻く生活バリアを考える～」

大会長 近畿大学 工学部長 京極秀樹

実行委員長 近畿大学 教授 高井広行

2. 主催

一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会 (担当：中国四国支部)

3. 開催日時

2014 年 8 月 22 日(金) プレイベント・シンポジウム (市民参加プログラム・無料) など

2014 年 8 月 23 日(土) 研究発表会、研究討論会、ポスターセッション、交流会など

2014 年 8 月 24 日(日) 研究発表会、見学会 など

4. 開催場所

①本大会会場：近畿大学工学部広島 キャンパス

②プレイベント会場：東広島市市民文化センター アザレアホール (西条駅より徒歩 7 分)

5. 大会テーマ

大会テーマは「超高齢社会のまちづくり」、サブタイトルとして「我々を取り巻く生活バリアを考える」です。我国は現在、高齢化率 24%と超高齢社会を迎えております。また、我々が生活する空間において様々なバリアが存在し、それらが社会参加における大きな障害ともなっていることは否めません。中山間地や地方の都市においてさらに高齢化は進んでおり、生活上の問題が山積しております。そこで、もう一度、我々を取り巻く生活バリアに焦点をあて、さらなる魅力的な福祉のまちづくりを行っていく方策を議論し、将来のまちづくりに役立たせたいと考えております。

本大会では、多くの研究者や市民、企業関係者が研究発表を行うほか、研究討論会、展示会、シンポジウムなどにより、全国に向けて今後の福祉のまちづくりに向けた最先端の情報発信を行うことにしています。

6. プログラム

① 全体プログラム (予定)

プレイベント・シンポジウム (市民参加プログラム・無料)

2014年8月22日(金) 13:00～17:30

会 場：東広島市市民文化センター アザレアホール (西条駅徒歩7分)

13:00～14:00 中国四国支部主催講演会「超高齢社会のまちづくり
～我々を取り巻く生活バリアを考える～」

14:15～16:00 市民公開シンポジウム (超高齢社会のまちづくり)

16:15～17:30 特別研究委員会報告および討論

18:00～20:00 懇話会 (事前申し込みが必要です。: fukumachi@hiro.kindai.ac.jp)

2014年8月23日(土) 9:00～17:55

会 場：近畿大学工学部広島キャンパス

8:30～ 受付開始

9:00～12:30 研究発表 (口頭) (コメンテーター論文・一般論文)

13:15～13:50 第1部 学会の将来計画 (総務・学術・全国大会運営方針等) の報告

14:00～16:45 第2部 研究討論会

① 地域の交通政策の転換点・・・いま何を考えるべきか?

② 障害者に拘わる情報システムの新しい変化

③ 障害者差別解消法によって地域環境とくらしはどう変わるのか?

④ 「わかりやすさ」のユニバーサルデザインー心地良い環境の創造にむけて

16:55～17:55 ポスターセッション

18:10～20:00 交流会

2014年8月24日(日) 9:00～12:30

会 場：近畿大学工学部広島キャンパス

9:00～12:30 研究発表 (口頭) (コメンテーター論文・一般論文)

12:45 閉会

<見学会参加者>

移動：近畿大学 (芸陽バス 12:30 分発：所要時間 5 分、あるいは、徒歩 20 分) ⇒西高屋駅 (12 時 28 分、46 分、56 分、13 時 15 分発：JR5 分) ⇒西条駅 (徒歩 5 分) ⇒会場 (直接：西条駅行芸陽バス 12:58 分発、所要時間 15 分) (いずれかの交通手段にて西条へ移動してください。)

昼食を自由にお楽しみください。(西条駅周辺のお店マップを当日配布)

13:50 酒蔵通り「くぐり門」前に集合 (配布地図参照)

14:00～15:30 見学会 (西条駅周辺酒蔵通り：試飲あり：無料)

*参加希望者は fukumachi@hiro.kindai.ac.jp へ事前申し込みしてください。

② 市民公開シンポジウム (無料)

日 時：8月22日(金) 13:00～16:00

会 場：東広島市市民文化センター アザレアホール

プログラム：

第1部 基調講演「超高齢社会のまちづくり～我々を取り巻く生活バリアを考える～ (仮題)」

第2部 パネルディスカッション「地方都市における超高齢社会のまちづくり（仮題）」

③ 研究討論会

研究討論会は各テーマについて、研究者、実務者、当事者等による課題・視点のあり方について議論を行い、研究や運営・運用に当たっての論点を明らかにして成果をまとめます。

日 時：8月23日（土） 14：00～16：45

会 場：近畿大学工学部広島キャンパス

テーマ：① 地域の交通政策の転換点・・・いま何を考えるべきか？

② 障害者に拘わる情報システムの新しい変化

③ 障害者差別解消法によって地域環境とくらしはどう変わるのか？

④ 「わかりやすさ」のユニバーサルデザインー心地良い環境の創造にむけて

④ 交流会（費用は7.参加費を参照）

日 時：8月23日（土） 18：10～20：00

会 場：近畿大学工学部広島キャンパス

④ 展示会（ポスター、機器・製品、市民開放：無料）

⑤ 研究論文発表会（コメンテーター論文・一般論文）

研究発表は口頭発表（コメンテーター論文発表と一般論文発表）とポスター発表で行われます。

プログラム（大会ホームページにて最新の情報を確認ください。）

⑦ 見学会

日 時：8月24日（日） 14：00～15：30（13:50 集合）

見学地：西条酒蔵通り（白牡丹酒造・賀茂鶴酒造・福美人酒造・賀茂泉酒造・亀齢酒造・西条鶴醸造）

7. 参加費 正会員 7,000 円（5,000 円） 学生会員 2,000 円（3,000 円）

 非会員 10,000 円（5,000 円） 学生非会員 3,000 円（3,000 円）

 *シンポジウム、展示会は無料 （ ）内は交流会費

 概要集（CD-ROM）の代金は含む。

8. 問い合わせ先： fukumachi@hiro.kindai.ac.jp 谷川まで

2) 第18回（平成27年）全国大会開催地（千葉県柏市）

日程：2014年8月7日（金）～9日（日）

会場：東京大学 柏キャンパス ほか

6. その他